

イマズスルフロン・ピラクロニル・プロモブチド剤 バッチリ (1キロ粒剤 / フロアブル)	取扱メーカー： 協友アグリ 原体メーカー： 住友化学，協友アグリ，住友化学
成分： イマズスルフロン〔スルホニルウレア系〕0.9% (粒剤)，1.7% (フロアブル) ピラクロニル2.0% (粒剤)，3.7% (フロアブル) プロモブチド〔酸アミド系〕9.0% (粒剤)，16.3% (フロアブル)	性状： 類白色細粒 (粒剤) 類白色水和性粘稠懸濁液体 (フロアブル) 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

〈共通〉

- ノビエだけでなく，一年生雑草から多年生雑草にいたるまで幅広く効果を示す。
- スルホニルウレア抵抗性雑草に対しても，幅広く高い効果を示す。
- 効果の発現が非常に速い。
- 温度による効果の変動が少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。
- 田植同時処理が可能である。

【使用上のポイント】

〈共通〉

- 共通注意事項の5. 水稻除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように散布する。
- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には雑草の発生をよく観察し，時期を失ないように適期に散布する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので必ず適期に散布する。
- オモダカ，クログワイ，コウキヤガラ，シズイは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので，必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

雑草名	散布適期	
	粒剤	フロアブル
ホタルイ	2葉期まで	2葉期まで
ミズガヤツリ	2葉期まで (直播水稻は1葉期まで)	
ヘラオモダカ ウリカワ	2葉期まで	
ヒルムシロ	発生期まで	
セリ	再生前～再生始期まで	
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで	
シズイ	草丈3cmまで	
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前	

【薬効・薬害等の注意】

〈共通〉

- 共通注意事項の5. 水稻除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 直播水稻栽培では，稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- いぐさ栽培予定田では使用しない。また本剤散布後の田面水を他作物に灌水しない。
- 適用作物（水稻）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（いぐさ，れんこん，せり，くわい）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………
 〈共通〉

- 藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

- 無人ヘリコプター散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。

【適用と使用法】……………

①バッチリ1キロ粒剤

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	1 kg	田植同時散布機 で施用	1回※
		移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、移植後 30日まで		湛水散布又は無 人ヘリコプター による散布	
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲出芽始期～ ノビエ2.5葉期 但し、収穫 90日前まで			

※イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数：2回以内
 ※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数：2回以内
 ※プロモブチドを含む農薬の総使用回数：2回以内

②バッチリフロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	500 ml	田植同時散布 機で施用	1回※
		移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで		原液湛水散布 又は 水口施用	
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲出芽始期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで			

※イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数：2回以内

※プロモブチドを含む農薬の総使用回数：2回以内